

まちづくりタウンミーティングでの意見（全体）

期 日	参加者
第1回 令和5年11月21日（火）	54名
第2回 令和5年11月29日（水）	65名
第3回 令和5年11月30日（木） （なかよしランド）	3名
計	122名

①久々野地域の自然資源などの活用	1～6 P
②久々野地域中心部（飛驒川団地周辺）の市有地の活用	7～10 P
③道の駅ひだ街道なぎさの活用	11～13 P
④その他	14～15 P
⑤なかよしランドでの意見	16～17 P

①久々野地域の自然資源などの活用

～船山・あらかぎ湖周辺の自然資源、歴史・文化資源の活用～

【あらかぎ湖周辺】

(以前の状況)

- ・花火やイベントもあった。(3)
- ・合併から 10 年間は地域振興特別予算があり、イベントも実施できたが資金がないとできない。
- ・ボートやキャンプ場を上組の人がやっていたが、今はどうなっているか。個人でやりたい人がいるのであれば、大いにやってほしい。
- ・モトクロスの練習や大会をしていたが、今はやっていない。
- ・湖面利用については、以前ボートをやっていて、ワカサギが釣れた。
- ・水上花火、釣り大会、無数河林道でマラソンなどをやっていたが今はない。PR 不足が原因ではないか。
- ・花火やワカサギ釣りをしていた。やめた原因を探る必要がある。
- ・キャンプ場、湖面利用などをやってきてダメになった原因などを洗い出してから次の事業に向かった方がよい。

(魚釣り)

- ・(防災ダムとしての役割があるため) 水量が少ない。魚を放流しても大丈夫なのか。
- ・魚釣りをできるようにして、釣った魚を調理して食べられるようにしてはどうか。以前はわかさぎ釣りをやっていたが、マスなど大きな魚を釣れるようにしては。

(キャンプ)

- ・水辺でキャンプができると良い。
- ・夏に東京から友人が来たのであらかぎ湖へキャンプに連れて行ったら、「こんな良いところが近くにあってたくさん来るのに」と言ってとても喜んでた。キャンプ場として良い場所なので、PR 方法が重要である。
- ・穴場的な場所なので、貸切りのようにしてキャンプをしている人がいる。
- ・過去(30年前)には学校でキャンプに行った。今の子どもたちにもそんな経験をさせたい。
- ・あまり行ったことがない。キャンプ等好きな人が行く所。

(水道設備)

- ・飲料水がないことは大きな問題。(2)
- ・トイレは山水で茶色い水がでることもある。
- ・水道設備がなく飲料水の確保が必要。整備に費用がかかるのであれば、井戸を掘って飲料水を確保してはどうか。井戸水のほうが経費が少なく済むのではないか。水道を整備すると、排水も考えなければならない。
- ・バイオトイレの設置

(情報発信)

- ・インスタグラムでの久々野の魅力募集であらかぎ湖の階段の写真が話題になっていたように、「映える」スポットもあるし、作れるはず。今でもウェディングフォトを撮りに来るカップルがいる。

- ・SNSでの情報発信。

(冬季利用)

- ・冬に有効活用できるとよい。(クロスカントリー練習等)道路の除雪、冬場にトイレが使えるか課題。
- ・クロスカントリーの練習ができるよう除雪を要望する。
- ・冬の良さを広く発信。
- ・冬季の利用方法の検討。

(施設管理)

- ・やる気のある人を募ったりノウハウのある企業の誘致。
- ・整備、管理などは誰がやるのか明確にする必要がある。
- ・あまり費用をかけずに、現状を維持しながら活用できることから考えてはどうか。
- ・持続可能を目指すには、常駐して管理する人が必要。どういう団体が担うのか。
- ・自然資源の活用を若い人たちはどう思っているのか。
- ・登山道、遊歩道は、毎年整備や草刈りは行っている。
- ・有効な活用がしきれていない。そのための必要な施設整備が必要。

(無数河林道)

- ・冬季は除雪されず通行止めとなる。スノーモービル等で通れるようにしたらどうか。そのままあららぎ湖で雪遊びや散策をするのもいいのでは。
- ・アルコピアからあららぎ湖への林道を視察したが、景観が良かった。舗装が一部良くないところもあるが、活用できるのではないか。
- ・林道を活用して、夏はサイクリング、冬はスノーモービルで活用するのが良い。
- ・林道を活用したラリーやサイクリングも良いのでは。

(その他、設備や機能)

- ・核となる組織が必要。他力本願ではダメ。
- ・小さな子どもも安全に遊べるようにする必要がある。
- ・子どもの親としては、あららぎ湖で楽しめるイベントやアクティビティがあると良い。ピクニックのようにお弁当を持ち込むなど、一日過ごせるのが理想。
- ・市内には年齢に応じた遊びができる場所がないので、子どもが遊べる場所になってほしい。
- ・あららぎ湖は水が満ちても引いても面白く、それぞれ良さがある。
- ・自然を生かしたアトラクションで盛り上げる。
- ・イモリやミズバショウなど動植物の観察もできる。
- ・イベントなどで盛り上げるなら、花火、マラソン、釣りなど。
- ・昔の花火大会やマラソン大会などのイベントが今はないので、特に子どもたちは親しみを感じる機会がない。ただ一周して見るだけでは子どもは楽しめない。
- ・野外コンサートなど人が集まるイベント、自然を使ったアスレチックなど子どもも大人も楽しめる場所がほしい。
- ・郡上市では、農業用ため池でサップやカヌーが盛んである。
- ・星空の見えるキャンプ場、サップ(ボード)による湖面利用。
- ・雪遊び、キャンプ、自然散策、久々野周遊サイクリングロード。

- ・サイクリング、ロードバイクなど自転車を使ったアクティビティができる場所。
- ・自転車を立てかける施設や空気入れの設置など利用できる環境づくりが必要。
- ・ペットと一緒に活用でき、ドッグランがあるとよい。(2)
- ・誰を対象にするのか考えなければならない。釣り客は減ってきている。
- ・原生林は散策するには良いところである。
- ・原生林の活用が必要。
- ・あららぎ湖まで行く間に自販機がなく残念。水分補給は必要。
- ・付近の別荘地は人が住んでいない。(建物が古くなっているということか?)
- ・観光コース、ガイドなどの肉付けがほしい。
- ・お金をかけない有効活用が必要。(サイクリング、夜の星空)

【旧アルコピアスキー場の活用】

- ・船山アルコピア周辺は桐山さんに任せて応援したい。(2)
- ・桐山さんがアルコピアスキー場のあとを続けてくれてうれしい。
- ・アルコピアに休憩所やベンチを整備すると人が来るのではないか。
- ・スキー場での雪遊び。
- ・スキー場の活用 (冬場はスノーモービル体験やクロスカントリー、夏場はハンググライダーなど)。
- ・アルコピアになばなの里のようなイルミネーションをしたら人が集まるのではないか。
- ・マウンテンバイクのコースとして整備し広く発信してはどうか。
- ・ひまわり園～チューリップ園～紅葉と、季節ごとの風景をSNSで情報発信するとよい。
- ・幼少期から行ける場所や機会を作るとよい。小さな積み重ねが大切である。

【船山山頂】

(山頂へのアクセス)

- ・道が狭く崖が深いのでガードレールの設置や退避所を増やすとよい。もっと車で行きやすいようにしては。
- ・道路の拡幅は難しい。路面整備で良い。
- ・頂上に展望台はあるが、四駆の車でないと頂上まで行けない。
- ・マウンテンバイク、E-バイクなどを導入してはどうか。(2)
- ・レンタルバイクやE-バイクなどを貸し出し、船山山頂を目指すのもよい。
- ・船山山頂へは歩いて行くか、その他の車両(電動アシスト付)などを活用。
- ・船山からの展望が良く、雲海も見れる。テラスを作り、頂上まで車で行けるようにしたり登山道も含めて整備をしてはどうか。

(山頂、展望台)

- ・トイレが必要。
- ・展望台やトイレの整備についてボランティアを雇って整備してはどうか。
- ・眺望が良いのに展望台が活用されていなくてもったいない。柵や案内板が整備されているのが登山客向けなのか。
- ・展望台周辺をパワースポットとして宣伝するのはどうか。
- ・景観が美しい。登山にちょうど良い。

- ・隠れたスポットになっている。
- ・スノーモービルで登山してはどうか。
- ・山頂（展望台）から初日の出を見る雪山トレッキングとか。

【エリア（あらかぎ湖～船山）の一体的な活用】

- ・あらかぎ湖～船山で1時間ほど歩くのはちょっとしんどいかもしれないが、登山ブーム、キャンプブームに乗ってアピールポイントになるかもしれない。いろいろなルートもある。
- ・船山、あらかぎ湖を一連のテーマパークとして集客しては。
- ・アルコピア、あらかぎ湖、モンデウスを（林道、登山道を含めて）一体で活用していく。
- ・船山とあらかぎ湖の連携ができると思う。
- ・船山、あらかぎ湖のインフラ面の整備
- ・自然資源がまとまっていないのでターゲットを絞ってはどうか。
- ・点ではなく面での展開を検討しては。(2)
- ・サイクリングをしている外国人もよくいる。サイクリングロードを整備するのはどうか。

【トレッキングの活用】

- ・ロングトレッキング（3日かけて踏破するような）もコアなファンがいるので、山之口へ出るルートなども良いのではないかな。
- ・遊歩道でのトレッキングは距離が長いので一般受けしないかもしれない。短いコースもあると良いかもしれない。
- ・青少年を呼び込む手段としてトレッキングがよい。

【エリア周辺の道路】

- ・県道宮萩原線は、災害時のう回路となるなど国道と同じような機能があり大事な道である。冬季の除雪も必要。
- ・冬は除雪をして道路を活用するなど、隣接する地域（一之宮や萩原町など）との連携が大事。
- ・あらかぎ湖から下呂市萩原町への道路整備が必要。
- ・県道の通行止めで通り抜けができないため周遊できるアクセスが必要。

【獣害対策】

- ・獣害から利用者を守る取り組みが必要。
- ・船山やあらかぎ湖は獣の出没が多い。柵をするなど対策が必要。
- ・山の範囲が広いので、安全面や管理面が大変だと思う。熊の被害が心配。
- ・トレイル、キャンプなどは、自然環境が近くなるのでクマの対策などは考えた方がよい。

【堂之上遺跡、歴史民俗資料館の活用】

- ・過去にはイベントも行っていた。子どもたちが喜ぶ工作などのイベント開催。
- ・過去には馬市があった。久々野の歴史を知り伝える博物館として活用。
- ・堂之上遺跡は市内でも貴重な国指定史跡。イベントを開催するなど資源を活かしてほしい。

【方向性】

- ・久々野にはこれがあるという強みを作る。
- ・いくつも手を出すのではなく、的を絞るべき。あれもこれもやるのは無理。
- ・住みやすい地域を作るのか、観光で人を呼ぶのか、方向性を決めてから進めるべきではないか。

- ・お金を稼ぐ環境が必要。船山～あらかぎ湖はビジネスとして活かせる。一時の資本注入だけでは長続きしないので地道なPRや発信力が必要であり、ネットを活用し拡散するとよい。
- ・誰もやっていない事をやった方がいい。
- ・お金をかけなくても人が集まる仕組みづくりが大事。ロードバイクや自転車は安全でお金もかからない。
- ・持続可能な取組みとするため、いろいろな取組みでお金を稼ぐ必要がある。
- ・お金を落としてもらう仕掛けが必要。
- ・今までを次につなげていくことが大切。アルコールがなくなっても魅力のあるところにしていきたい。久々野の住民だけではなく他県から来ていただくのにとてもいいところ。
- ・自然資源を活用して収益を得ることは難しく感じる。来てもらうことに重点をおけばやりようがあるのではないかな。
- ・年代により考え方も違う。スキー人口も減り、地元でもスキーをしない人が増えており、何かほかのアイデアが必要。
- ・久々野の資源については、町内の人よりも町外の人、特に久々野から出た人（子ども、孫など）の方が良いところを感じていて知っているの聞いてみてはどうか。

【久々野地域全体の活用】

(久々野全体を活用する)

- ・自転車競技の乗鞍ヒルクライムには市内のどこかに宿泊しているので連携できるとよい。他より魅力あるものをつくり、走る街道にお金が集まる仕組みを考えるとよい。
- ・秋は紅葉がきれいなのでハイキングやスタンプラリー、ウォーキングなどで久々野を散策するイベントをやったら面白いのではないかな。コースは季節に合わせて中心部も含めたコース設定にするとよい。
- ・久々野には田畑があるので、都会の人に収穫体験をしてもらうのも面白いのではないかな。
- ・船山・あらかぎ湖だけでなく「くぐのお宝マップ」を利用し、それぞれの地域をつなぐ道（舟山牛牧林道、阿多粕西洞林道等）も含めたウォーキングコースも良いのでは。
- ・町内で軽トラが道に連なり絵になった。アイデア次第でイベントにつながる。
- ・先日開催された商工会のポイント会マルシェはキッチンカーも出て盛り上がっていた。人を呼び込むイベントを開催するとよい。
- ・人が集まる仕掛けをすれば、それに呼応して環境もよくなるのではないかな。

(自然の活用)

- ・地元の9割が自然であるので活用できるとよい。
- ・外国人は、自然を体験して楽しむために来ている人が多い。ただの山川でも、自然を見慣れている日本人よりじっくり時間を使って見てくれる。彼らはSNSで発信するので、口コミで広がっていく効果も見込める。外国人向けのツアーパックを組んで誘導してはどうか。
- ・外国人は自然そのものに魅力を感じており、とりたてて新しいものはいない。
- ・自然は観光資源であり、地元の人のものであることを考えてすすめてほしい。
- ・自然資源が豊富である。都内のウォーキング協会が開催するウォーキングに参加しているが、久々野でも試験的に行えるようにするといい。岐阜大学が実施したウォーキングが好評だった。位山官道から山之口までのコースでは白山などの山が全て見える。

- ・交通の便を改善することが重要。外灯をもっと増やすとよい。
- ・船山・位山・あららぎ湖など、自然が豊かなのはそうだが、久々野に限った魅力ではなく、日本どこにでもある。船山のひまわり園もいつまで整備し続けられるか分からない。活性化に期待しすぎない方がいい。

②久々野地域中心部（飛驒川団地周辺）の市有地の活用

～市民がつながり、やすらぎを感じることができる空間・環境の整備～

【公園の整備】

（公園の必要性）

- ・公園がないので作ってほしいという声が多い。若い世代が多いと公園がほしいのではないかな。
- ・小さい子どもが遊べる場所がないので公園が望ましい。（障がい者、高齢者も）
- ・子どもが遊べる大きな公園（キャッチボール、自転車乗り、ミニサッカー等ができる）がほしい。
- ・飛驒川団地に住んでおり最近子どもが生まれたが、公園を整備しても安全に遊べる場所を確保できないのではないかな。気軽にお弁当を食べられたり交流できたりできる場所になれば。
- ・地域の空き家が増えていることを考えると、簡単に宅地分譲とは言えない。住んでいる人が幸せ感を感じられる公園エリアがよい。

（期待される公園像）

- ・親水公園として整備し、ビオトープや遊歩道を設置するなど、庭のように作ったらどうか。
- ・遊具があれば子どもが遊べる。倉庫を設置してなわとびなどを貸出する。
- ・公園は木陰など涼しいところで遊べるようにしてほしい。
- ・樹木で日陰を作り滞在しやすい公園整備。
- ・自然が多い公園整備。
- ・アスレチックがある公園整備。
- ・小中学生も竹馬などで遊べる公園整備。
- ・小さな遊園地となるような遊び場所がほしい。
- ・公園にベンチや休める場所があれば、子どもだけでなくお年寄りも立ち寄れる。
- ・明るくきれいな公園がよい。
- ・施設を作ると維持管理が課題になるので、遊具はあまりなくてもいいのかもしれない。
- ・萩原町の河川公園は日当たりが良く、家族がくつろげる場となっている。あまり物がなくても芝生が一面にあるところなら、家族連れでピクニックを楽しみのんびりくつろげる。
- ・木陰やベンチなどの座れる場所があれば（他に遊具などがなくても）、遊びに来た人は自分で考えて遊ぶと思う。
- ・小さい子どもがいると遊具がない公園は、親が遊びに連れていく公園の選択肢に入らないので、ブランコやすべり台がある公園が良い。
- ・丹生川の合併記念公園の大きなすべり台まで遊びに行く。久々野公民館駐車場にある小さな公園もブランコとすべり台があるので、子どもが集まっている。
- ・公園は利用する年代によって考え方がいろいろ違うのでニーズに合った公園にする必要がある。
- ・公園を作るにしても、市街地の公園とコンセプトがかぶるとよくないのではないかな。何か特化したアピールポイントが欲しい。例えば雪や近くの川を活かせる何かとか。（川は防災面に注意）

- ・公園があればマルシェやイベントができ、人が集まるのではないかな。
- ・原山公園などのようにキッチンカーが来てくれるとよい。(人口増加につながれば)
- ・不用品リサイクル、フリーマーケット、キッチンカーなどのイベントで人が集まり、家族で参加できるものがあるとよい。
- ・ロングウォークキング後の休憩、憩いの場、高齢者と子どもの交流(竹とんぼ、紙風船など昔の遊びや物づくりを通して交流)できる場所がほしい。

(公園に必要な機能)

- ・公園を整備するには駐車場が必要。市有地では狭いのではないかな。
- ・公園にはトイレと駐車場が必要。
- ・面積的に、また、土地が分かれているため、公園としては微妙かもしれない。駐車場はどうするか。
- ・堤防の補強はどうなっているのか。ただ公園を作るだけでなく、防災面も考慮して作る必要がある。
- ・公園の中に児童館のような施設がほしい。

(飛騨市杉崎公園)

- ・どこにでもある公園でなく、ここにしかない公園(杉崎公園)がほしい。
- ・子持ちとしてはやはり公園がほしい。久々野には中途半端な公園しかないので、一日子どもと過ごすとなると難しい。飛騨市の大きな公園に行く人をよく見かける。(久々野は遊具が少ないので子どもが順番待ちになってしまう。)
- ・飛騨市には立派な公園があるが、久々野でも公園を整備して他市から来ていただけるようなまちを作ってほしい。
- ・古川町の杉崎公園に行ったが、大きくて魅力的でわざわざ遊びに行く。みんなが行きたいと思うような公園が久々野にできると良い。大西の桃源郷公園より大きい公園がいい。

(公園の管理)

- ・公園を作ったとしても、市が管理してくれればいいが。
- ・夏場の公園は暑くて遊具が使えない。つどいの広場も活用できないかな。

(既存の公園)

- ・公園はふるさと公園、桃源郷公園、河川公園などもある
- ・既存の公園は中途半端な感じで、管理もしっかりされていないので使われなくなる。
- ・子育て世代は公園を望んでいる。既存の公園はアクセス道路が狭く駐車場が少ない。管理もされておらず雑草が生えている。
- ・ふるさと公園は利用が少ない状況であるため使いやすく利用されやすい公園にしてほしい。アンケートをとるのもひとつの手段である。
- ・ふるさと公園もよい公園だったが維持管理が追い付いていない。
- ・河川公園(桜やモミジを植えて人を呼ぶ)と連携する必要がある。
- ・河川公園と近いため行き来できる公園整備。
- ・河川公園と一体的な活用。(2)

【住宅分譲地の整備】

- ・周りに新しい世帯が増えている地域。仕事場が近くにあり、土地代も安い。
- ・宅地（分譲地）にしてはどうか。子どもが増えるし、税収増にもつながる。公園等施設をつくと管理にお金が必要になる。
- ・分譲地にする場合、いま売り出していた区画は狭く、家と駐車場でいっぱい。広い区画をつくり、庭や畑がつかれるくらいだといひ。
- ・中心地だけ若返っても、他の集落は高齢化している。他の集落から子ども世代が中心地へ移り住むパターンもある。久々野から出ていかないことはいいこととも考えられる。
- ・若者を増やす取り組みが必要なので住宅地にしたほうがいい。
- ・反保は分譲地のおかげで子どもが増えた。住宅地にすれば人口が増える。
- ・宮峠トンネル開通に伴い交通の便が良くなったので一部を住宅化しては。
- ・立地もよく住宅の需要はあるので、住宅地にして若い世代を呼び込むのはありだと思う。ただそれでもやはり子どもたちのための公園は必要になってくる。逆に空き家が増える問題も。
- ・土地の価格が安いので公園や住宅地にして人口を増やすことを目指していいのではないか。
- ・住宅分譲してコワーキングスペース、サウナ施設にしてはどうか。

【公園と住宅地を整備】

- ・2つの区画のうち、1つは宅地、もう1つは公園にしてはどうか。公園の隣が調整池となるため、そこを駐車場にするといい。
- ・住宅地と公園として整備しては。

【活用の方向性】

- ・施設を整備することは良いが、管理をどうするのか明確にしないと荒れ放題になる。
- ・地域住民をターゲットにした場所にするのか、外部企業などをターゲットにした場所にするのか明確にしてから向かわないとコンセプトがずれてしまう。
- ・地域内向けの公園か、外から人を呼び込む住宅か、商業施設なのか、方向性をはっきりしないといけない。
- ・維持管理ができなければ一時的なものになってしまう。
- ・どういう所にしたいか（他地域から来てもらうか、地元の人が行くか）整理してから議論する必要がある。
- ・公園はピンとこないので経費のかからないシンプルなものが多い

【少子化】

- ・今年、久々野地域で生まれた子どもは10人くらいと聞いた。少ないときみしい。子どもが増えることには賛成で遊ぶところもあるとうれしい。
- ・分譲地に若い世代が家を建て、子どもが増えた。子どもの元気な声が聞こえるのは良いことだと思う。

【その他の活用】

- ・JAのAコープが閉店になると、買い物に困る人がいるので、スーパーを誘致してはどうか。（ゲンキーは食料品もあるがあくまでドラッグストア。）
- ・橋場は人口が減っている。無数河住宅には古くて入居していない住宅があるので、そこを分譲地にするなど考えてほしい。

- ・公園、体育館、つどいの広場など公共施設をリンクし行き来しやすい環境整備。
- ・市有地周辺には飛騨川を挟んで、河川公園・高屹山もあり久須母橋を利用すると周遊できる。実際散歩コースとなっているが河川公園が壊れているため、今後を見据えた整備が必要。飛騨川大橋のライトアップ、イルミネーションもよい。
- ・久々野はキッチンカーの派遣要請が少ないらしい。中心地にイベントができる拠点がいないからではないか。
- ・川のそばはドローン練習場にも良いかもしれない。
- ・近くのつり橋も景観はいいので、何かに使えるかも。
- ・いい場所であるが企業誘致で来てもらえればありがたい。(現在は白紙の状態)
- ・土地が少し狭いので公募制にして使ってもらっては。公共施設がいいのではないか。
- ・中途半端な大きさの市有地である。
- ・ウォーキングなどに向いているのではないか。
- ・久々野へ来てもらえるような取り組みを必要。
- ・働く場所にするのも良いかもしれない。
- ・子どもよりペットをターゲットとしたものがよい。
- ・ドックカフェの需要もある。
- ・隣接する県道は交通量が多い。子どもが心配なため安全対策が必要。
- ・堂之上遺跡への誘導も必要。
- ・公園よりは商用地がよい。
- ・駐車場にしてはどうか。
- ・飛騨にここでしかないものがほしい。
- ・すでに診療所が支所裏に完成する予定であるが、診療所がこちらに来るといった意見はなかったのか。
- ・支所、商工会、老人いこいの家、つどいの広場がひとつになっていて診療所もできるとなると用事が一度に済む。市有地は商用地として、お金を落としてもらえるものがよい。

③道の駅ひだ街道なぎさの活用

～久々野地域の玄関口として「道の駅」を位置づけた地域全体の魅力の向上～

【商品の確保】

- ・農産物等、年間を通じて商品を切らさないことが大事。にぎわっている所は、たくさんの商品がある。地元だけでなく、他の友好地域とも連携し他の地域の商品も置いてはどうか。
- ・高齢者の作った作物の販売があるが、安い値段で売られているので値上げしてはどうか。出品される方の張り合いになればよい。
- ・夏は野菜が売れるが、冬に売れるものがない。乾物はあるが野菜がない。
- ・冬季は直産品の野菜や果物がなく売り場が閑散としているので、よそから仕入れて売ることも考えるべき。
- ・冬季の商品不足は解消すべき。
- ・野菜販売はよいが冬期間はどうするのか。
- ・高齢化で道の駅で野菜を販売する生産者が少なくなっている。
- ・ものを安く売る必要はない。

【特産品の開発】

- ・久々野はトマト産地なのにトマトの特産品がない。(リンゴは、アップルパイがある)
- ・アップルパイは販売期間が短いので、年間を通して販売できる商品を考えてはどうか。
- ・かぼちゃパイなど、時期をずらして販売できる特産品、新商品を開発する。りんごにこだわらない。
- ・アップルパイは知られているが、これと特産品があればいい。
- ・久々野の果実を使ったパフェの開発はどうか。
- ・有名パティシエによるメニュー開発。
- ・アップルパイはどこにでもある。何かほかに変わるものが考えられないか。

【売り場、食事】

- ・直売所の拡張。
- ・農産物はピークがあり、売り場面積が足りなかったり余ったり、時期によって差がある。
- ・売り場を広く、車で入りやすく出やすく。
- ・フードコートのようなものがあるといい。
- ・気軽に食事ができるスペースがあるといい。
- ・イスやテーブルなど休憩場所がなく滞在時間が短い。
- ・間取りが悪い。
- ・動線が悪く、レジが離れていて並んでいる。配置を考えた方がよい。
- ・買い物のための施設で、座れる場所、くつろげる場所がない。オープンスペース、フードコートがほしい。
- ・SAのようにしてはどうか。
- ・直産品を自分で調理(焼いたり)して食べられる場所があると面白いと思う。
- ・レストランのテナント化。
- ・加工施設の拡充、テラスの活用。

【集客】

- ・利用者は多い。
- ・近隣の道の駅の人はい少ないが、久々野は人が集まっている。
- ・高山市の南の玄関口として、魅力度アップの観点が必要。
- ・産地直送アピールをもっとすべき。
- ・店舗だけでなく、交流の拠点にもなるような事業がいい。
- ・食べるものがあると集客できる。
- ・道の駅にはまだまだ集客力が潜在している。
- ・どこでも買える土産は不要。ドライブイン方式は限界である。
- ・特色がなくなると車も素通りする。そこでしか食べられないものや、体験型を考えるとよい。
- ・名古屋の方で道の駅に必ず寄るといふ方がいる。

【イベント開催】

- ・毎週、毎月イベントが必要。(特売日とか詰め放題とか) (3)
- ・立地的に「ついで」に寄ることはあまりなくても、なにかイベントがあればそれを目的に来てもらえる。
- ・久々野の人でも遠くてあまり行かない。地元の人が行きたくなるようなイベントを実施するなど工夫が必要。
- ・もっと情報発信して、小さなイベントを多く開催すればもっと集客できる。
- ・リンゴ試食会の継続開催。
- ・最近では体験できるアクティビティやワークショップが人気。なぎさで体験教室を開くのはどうか(アップルパイ等、季節の特産・郷土料理の教室。小屋名しょうけや有道杓子の体験教室)。ツアーに組み込んで呼び込むなど。りんご狩りツアーなどで町内のほかのスポットに誘導もできる。

【駐車場】

- ・駐車場のスペースが限られているので止めにくい。
- ・駐車場を広くした方がいい。(立体駐車場とか)
- ・渚駅付近に撮り鉄のスポットがあり、道の駅を駐車場として利用している。撮り鉄の館があるとよい。
- ・夜間、駐車場に車が多く停まっています、車中泊の人が多。その人たちにお金を使ってもらえるように取り込めないか。

【その他】

- ・コストパフォーマンスの充実。券売機を導入し職員の労働力軽減。
- ・セルフレジ、電子決済などを導入し職員の労働力軽減。
- ・町民が株主なので、皆で盛り上げる必要がある。
- ・生産者が高齢化のためモチベーションを高める取り組みが必要。
- ・若い世代にも応援団への加入を促進してはどうか。
- ・近くの女男滝はあまり知られていないが、見事なのでもっとアピールした方がいい(小坂の滝のように盛り上げる)。写真も撮りやすいと良い。
- ・道の駅の横にヤナがあったが復活できないか。ヤナで人を集められないか。

- ・洞戸ヤナは年中開催し人が集まっている。
- ・久々野の四季のフォト展示をして、別シーズンにも来たいと思わせる工夫があると良いかもしれない。
- ・道の駅の位置づけをハッキリとさせたほうが良い。経済か交流かによって、方針が変わってくると思う。
- ・旧国道 41 号の活用。つり橋で渡れるようにする。旧道と道の駅を周遊できるようにする。
- ・経済を中心に考えるのであればネット販売、販路拡大。(消費者が望む形のもの、例：ハーフサイズのアップルパイなど)
- ・近隣でも不要の長物となった施設もあるので、二の舞にならないとよい。
- ・有道しゃくしの実演などネタはいっぱいある。
- ・遊具がない。
- ・ももちゃんカードが使えない。(朝日の道の駅は使える)

④その他

【移住】

- ・耕作放棄地が多い。空き家とセットで、他から住人（農業をやりたい人）を呼び込む必要あり。
- ・農業実習などで学生を呼び込むこと考えてみてはどうか。
- ・外から人を呼ぶことを目指すより、自分たちが安心安全に暮らせるよう考えれば、人口増加につながる。
- ・コワーキングスペースなど久々野に住んでもらえる策。

【農業】

- ・ソバなら収益は少なくとも、イノシシ等は来ないし、草刈りの労力が減るのではないかな。

【後継者】

- ・子どもたちがよそに出た後、戻ってこない。聞いてみると戻る想定もない子ばかり。久々野に帰ってくる意識を持ってくれるとうれしい。家庭内の意識も大切。山梨では次世代が残る傾向がある。
- ・後継者の育成が大事。次代を担う子どもたちが久々野に残ってくれることを考える。
- ・山梨の農家は後継者がいて、子どもも増えた。
- ・住みたくなる（久々野に戻ってきたくなる）地域になることが大事。

【少子化対策】

- ・保育園では10～20人クラスが出てきている。今後、南高山地域が連携した取組みを考え、今、その手を打つべき。
- ・兵庫県明石市は子育て政策に力を入れており、今では全国から人が集まっている。人を呼び込み、出生率を上げるならやはり子育て世代への支援を手厚くするべき。

【地域活性化】

- ・集客のため、地域内で使える地域クーポンを発行してはどうか。道の駅等で案内とクーポンを配布し地域内の名所を巡る取組みができないか。点から線へと繋がる取組みが必要。
- ・体験してくれた観光客が自ら発信しPRしてくれる取組みが必要。
- ・体験型がリピーターにつながる。
- ・スキー場に関して、桐山さんのサポートができればいい。

【情報発信】

- ・久々野を知ってもらう情報発信。（SNSなどネットの話題として上がること）
- ・合併前に「ふるさとくぐりの会」という事業があった。道の駅の応援団（買い手側）として年会費で商品（山の幸、川の幸）を送る、情報を発信するなど久々野ファンを作るのはどうか。

【その他】

- ・久々野地域全体の働き方改革が必要。例として道の駅の職員が土日は休みでないため、若い労働者が辞めてしまうケースがあった。
- ・川遊びをする子どもが少なくなった。近くに遊べる場所があるとよい。
- ・例えば、上水道料金が日本一安いなど、話題になるような押しがあれば企業も呼び込めるのではないかな。
- ・①～③のどの事業にしても、まずは資本がいる。継続していくには整備や管理もしっかりし

たものが必要。あれこれと手を出すのではなく、公費に頼らなくても利益を生み出し、事業を継続していけるような計画を立ててほしい。

- ・これからのビジョンがあれば教えてほしかった。
- ・地元の方にどれだけでも知っていただけるよう周知していきたい。(町内会等の回覧やまち協等などを利用)
- ・今までの財産を上手く利用していけるのではないか。
- ・堂之上遺跡、古文書、古い掛け軸、昔の写真などを文化祭の時に展示してもらうなど地域文化を地域の方に知ってもらうことも地域を守ることにつながるのではないか。
- ・堂之上遺跡の活用。
- ・外からのお客を呼ぶことも大切だが、地元の人が行きたくなくなる場所としても整備
- ・無数河団地の空き家の草が生い茂っている。
- ・無数河団地の空き家の障子が破れたままになっている。
- ・人口は増えることはないがポジティブにとらえるべき。
- ・高根の無印良品キャンプ場へは人が多く来ている
- ・独身者が多く子どもが減っている。

(課題)

- ・少子化、地域に残る文化財の活用、道の駅の応援。
- ・買い物支援、外出支援、空き家。
- ・高山市内へ来たお客を誘導及び確保するための、交通手段の整備確保。
- ・二次交通が不便である。ライドシェアの導入も必要では。

⑤なかよしランド

【①久々野地域の自然資源の活用】

- ・あらかぎ湖はよい場所でキャンプをした経験もあるが、熊が怖くてイベントでもないに行かない場所。
- ・昔は花火やスワンもあり子どもと一緒に遊べたが、今は人の気配もなく寂しい。
- ・ひまわり園はプールもあって子ども連れで遊べた。市民プール（赤保木町）だと少し遠い。
- ・夫がフルマラソンに出場しており、宮峠やあらかぎ湖周辺で練習している。フルマラソンでなくてもよいが自然環境がよいのでマラソン大会があるとよい。

【②久々野地域中心部（飛騨川団地周辺）の市有地の活用】

- ・杉崎公園（飛騨市）にはよく出かけるが、子どもの年代毎に遊具が分かれていて利用しやすい。また、イベントも頻繁に開催されキッチンカーも出店している。久々野にもあるとよい。
- ・養老公園（養老町）は道路に接しておらず、安全で、芝生、建物、遊具があり遊べる。
- ・桃源郷公園（大西）にブランコはあるが小さい子どもは乗れない。すべり台はあるが親子で一緒に滑ることができないし、トイレもなく利用しにくい。
- ・原山公園は広いしキッチンカーも出店している。
- ・公園には屋根付きの休憩スペースがほしい。
- ・ゲンキー付近は分譲地以外の住宅も増えにぎわっている。
- ・無数河団地（市営住宅）に入居しているが、新築できるような土地を探している。無数河団地も含めて空き家が多いので何か活用ができないか。
- ・久々野地域は高山地域と下呂市の間であり、その両方に通勤する方も多く、住みたいという人は多いと思う。
- ・無数河団地（市営住宅）やその敷地内の公園はかなり老朽化している。中心部に子どもから高齢者まで誰もが利用しやすい公園があるとよい。
- ・Aコープ久々野は橋場の高齢者も利用されている。廃止後にゲンキーで買い物をする場合、その途中で休めるスペースがあるとよい。

【③道の駅ひだ街道なぎさの活用】

- ・レストランはテーブル席のみのため、子どもを安心して見ていられる座敷があるとよい。
- ・キッズパークやフードコートがあるとよい。
- ・きりんのレストラン（国府町）はゆったりできるスペースになっているので、子どもと一緒にいても利用しやすい。

【④その他】

- ・子育てが大変な時期ではあるが、久々野のなかよしランドは情報を得たり、悩みを共有できる場になっていて助かっている。町外からの参加者も多い。
- ・つどいの広場はスペースが広く利用しやすい。
- ・今年の花火大会は多くの人が集まり魅力を感じた。
- ・高山地域から久々野行きの深夜バスが運行しなくなり不便になった。

- ・無数河団地（市営住宅）は班から脱退する方が多く、残った方で班長を回すため大変である。入居してすぐに班長がまわってきた。
- ・空き家で古い住宅があるためリノベーションして活用できないか。
- ・久々野体育館を有効活用できないか。ジムは稼働しているのか？知らない人が多い。
- ・保育園の入園通知の案内がなかなか届かず不安だった。
- ・保育園に入園できなければ早く連絡がほしい。期待を持たせて待たせ、結果として入園できない場合に、そこからまた探さなくてはならない。
- ・保育園交流がなくなり情報や知識が得られなくなった。
- ・保育園に入れなかった時に、保健師に相談にのっていただきありがたかった。
- ・女性青少年ホームではバランスボールやヨガなどの教室があり、以前、参加していて友達もできた。子育て中だと、なかなか息抜きをする時間もないため、夫が帰宅した後にでも参加できるような場が久々野にあるとよい。
- ・産後ケアを利用して2週間の延長入院された方を知っており、大変助かったと聞いた。また、通常より安価な料金で助産師の利用ができて助かった。